

学会教育委員会の現状*1

西園昌久*2

1. 学会教育委員会協議会の発足

日本医学教育学会では、運営委員会が改選されたのを機会に、新事業として学会教育委員会協議会を発足させることになった。

その主旨は以下のものである。日本医学会に加盟しているそれぞれの学会は、学術研究の目的で活動するほかに、卒前、卒後の医学教育にも社会的課題を認識し、その改善に取り組んでいるところが多い。しかし、医学教育の現場では専門学科の別をこえた協力が必要なのに、実際はこれまで相互には何も連絡しあうことなく、情報に欠けている。医学教育の改革が現実化することが求められる昨今の状況にあって、この種の連絡機関としての協議会を発足させることはたいへん意義ぶかいことと考えられる。そのような主旨から、学会教育委員会協議会(担当：西園昌久、副担当：香川靖雄、橋本信也)を発足させることにし、日本医学会に加盟する 91 学会に参加をよびかけた。

第一回協議会は、第 29 回日本医学教育学会大会が開催された機会に、平成 9 年 7 月 17 日、同じ金沢市で開催された。その会に出席された各学会の代表は、表 1 に掲げるように 35 学会 40 名にのぼった。その協議事項要旨は次のようであった。

1) 日本医学教育学会から同協議会の発足の趣旨説明と質疑

2) 各学会からの医学教育改善(主として卒前教育)への取り組みの報告

医学教育学会を除く、34 学会からそれぞれ報告があった。日本生化学会、日本法医学会、日本リハビリテーション医学会、日本医療情報学会、日本神経学会、日本病理学会からの資料の配布があった。

3) 日本学術会議(青山英康教授)からの報告
第 16 期同第 7 部会は文部省(卒前)、厚生省(卒後)、日本医師会(生涯)にそれぞれ分割されている医学教育の改善をはかるために National Training Center(医学教育センター)を創設することを勧告するよう決議したことが報告された。

4) 本協議会今後の取り組み

本協議会は日本医学教育学会と独立して別につくるのか、あるいは日本医学教育学会内につくるのかという質問があったが、日本医学教育学会が場を提供する方針であるという回答がなされ了承された。

今後、年 2 回協議会を行うこととし、そのうちの 1 回は日本医学教育学会大会(平成 10 年は 7 月 16・17 日、日本大学)中に行うことが提案され、了承された。

また、次回からの協議資料として、各学会の医学教育に対する取り組みについての実態調査を行うこともあわせてはかられ、了承された。

*1 The Joint-Committee of the Committees for Medical Education in the Medical Societies in Japan

キーワード：各学会の医学教育委員会、卒前教育、卒後教育、生涯教育、学会認定医

*2 Masahisa NISHIZONO 福岡大学医学部精神医学

表 1

出席学会ならびに氏名	
1. 日本生化学会	香川 靖雄 (自治医大 生化学)
2. 日本移植学会	小山 勇 (埼玉医大 1 外)
3. 日本内科学会	小林 健一 (金沢大 1 内)
4. 日本法医学会	大島 徹 (金沢大 法医学)
5. 日本産科婦人科学会	井上 正樹 (金沢大 産婦)
6. 日本核医学会	利波 紀久 (金沢大 核医学)
7. 日本胸部外科学会	村瀬 允也 (名 大 胸部外科)
8. 日本麻酔学会	伊藤 祐輔 (富山医薬大 麻酔科学)
9. 日本リハビリテーション医学会	田中 信行 (鹿児島大 リハビリテーション科)
10. 日本温泉気候物理医学会	勝木 通夫 (財)北陸体力科学研究所)
11. 日本衛生学会 (衛生学・公衆衛生学教育協議会)	青山 英康 (岡山大医学部 衛生学)
12. 日本神経学会	水野 美邦 (順天堂大 脳神経内科)
13. 日本人類遺伝学会	濱口 秀夫 (筑波大 遺伝医学)
14. 日本新生児学会	布施 養善 (東邦大 新生児学)
15. 日本糖尿病学会	山菅多佳子 (学会事務局)
16. 日本老年医学会	松本 正幸 (金沢医大 老年病学)
17. 日本小児神経学会	永井利三郎 (市立豊中病院 小児科)
18. 日本病理学会	中沼 安二 (金沢大 第二病理)
19. 日本医史学会	酒井 シヅ (順天堂大 医史学)
20. 日本整形外科学会	藤村 祥一 (慶応義塾大 整形外科)
21. 日本寄生虫学会	吉村堅太郎 (秋田大 寄生虫学)
22. 日本医療情報学会	山本 和子 (島根医大 医療情報学)
23. 日本臨床病理学会	熊坂 一成 (日本大学 臨床病理)
24. 日本外科学会	岡田 正 (大阪大学 小児外科)
25. 日本薬理学会	宮本 英七 (熊大医学部 第一薬理)
26. 日本輸血学会	原 宏 (兵庫医大 輸血)
27. 日本小児科学会	青木 継稔 (東邦大 第二小児科)
28. 日本東洋医学会	大澤 伸昭 (大阪医大 第一内科)
29. 日本アレルギー学会	中島 重徳 (近畿大 ライフサイエンス研究所)
30. 日本内分泌学会	齋藤 寿一 (自治医大 内分泌代謝科)
31. 日本小児外科学会	梶本 照穂 (金沢医大 小児外科)
32. 日本腎臓学会	木田 寛 (国立金沢病院 内科)
33. 日本消化器内視鏡学会	澤武 紀雄 (金沢大 がん研究内科)
34. 日本医学放射線学会	平松 京一 (慶応義塾大学)
35. 日本医学教育学会：(会 長)	堀 原一
(副 会 長)	尾島 昭次
(協議会担当)	西園 昌久
(副 担 当)	香川 靖雄, 橋本 信也
(監 事)	石田 清

2. 各学会の医学教育への対応についての実態 ならびに意向調査

先述した第一回協議会に提案し了承された各学

会の医学教育への対応についての実態ならびに意向調査が行われた(平成9年9月)。以下はアンケート調査依頼内容と回報の集計結果である。

平成9年8月 日

各学会会長 殿
教育委員会等委員長 殿

日本医学教育学会
会 長 堀 原一(筑波大学)
学会教育委員会協議会
担 当 西園 昌久(福岡大学)
副担当 香川 靖雄(自治医科大学)
副担当 橋本 信也(東京慈恵会医科大学)

貴学会の医学教育に関する対応(教育委員会等の活動)についての実態ならびに
意向調査(アンケート調査)についてのお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今日、医学教育の改善の働きはいろいろの次元で論じられ、実行されています。日本医学会加盟の各学会もまた、それぞれの学会の目的に応じて学会としての医学教育の改革へ関与してこれていることと存じます。

ただ、これまで、それぞれの学会がすぐれた医学教育改善への取り組みや提言をされても、その学会をこえて他の学会にその情報が伝わるということは公式には何もありません。この度、日本医学教育学会では当学会が日本医学会へ加盟することが認められたのを機会に学会教育委員会協議会を組織し、お互いの情報交換、問題の共通認識をはかることに資することにいたしました。過日、貴学会をはじめ日本医学会加盟の全学会によびかけ、さる7月17日金沢市で日本医学教育学会大会が開かれた際に同地で第一回の会合を持ちました。当学会を含め35学会の代表の方々の出席を得ました。今回は都合が悪く欠席したが次回から出席するというご意向も得られました。

その際、年2回学会教育委員会協議会として会合を持つことに一応決まりました。その前に、各学会の医学教育に対する取りくみについて実態ならびに意向調査をすることがはかられ決定しました。その結果を次回の会合の討議資料として提示することになります。まことにご多忙中に恐縮ですが、主旨にご賛同いただき別紙、実態ならびに意向調査(アンケート調査)にご協力下さいますようお願いいたします。ご回報は平成9年9月末日までに同封封筒にていただきますようお願い申し上げます。

貴学会のますますのご発展をお祈りいたします。

以 上

同 封

- 1) 各学会の医学教育に関する対応についての実態ならびに意向調査票、返信封筒
- 2) 第一回学会教育委員会協議会議事録

各学会の医学教育への対応についての実態ならびに意向調査

日本医学教育学会
学会教育委員会協議会
(該当するところに○印をおつけ下さい)

1. 貴学会名 _____
2. 記入して下さいの方の
氏 名 _____ 本職所属名 _____
学会での役職名 _____
3. 貴学会の会員数 約 _____
4. 医学教育に関する委員会
 - 4-1. 医学教育に関する専門あるいは特別の委員会がありますか.
4-1-1. ある 4-1-2. ない 4-1-3. 近く設けることになっている
 - 4-2. その名称はなんですか
(_____)
 - 4-3. 委員会がある場合
 - 4-3-1. 卒前, 卒後を同一の委員会であつかつている
 - 4-3-2. 卒前, 卒後に関する委員会 (あるいは小委員会) が別々に存在する
 - 4-3-2-1. 現在まで主に卒前医学教育をやってきた
 - 4-3-2-2. 現在まで主に卒後研修 (研究) をあつかつてきた
 - 4-3-2-3. 現在まで主に学会認定医制度に関することをあつかつてきた
 - 4-3-3. その他 (_____)
5. 卒前医学教育に関する委員会活動について (複数回答可)
 - 5-1. これまでは主にカリキュラム, 教育方法に関することをあつかつてきた
 - 5-2. 評価方法に関することをあつかつてきた
 - 5-3. 医師国家試験に関することをあつかつてきた
 - 5-4. “Teacher Training”あるいは“医学教育者のためのワークショップ”を,
a. これまで行った. b. 近く行う予定. c. 行う予定なし.
 - 5-5. その他 (_____)
6. 卒後臨床研修に関する委員会活動について
 - 6-1-1. 委員会としてこの種の活動を行っている
具体的に _____
 - 6-1-2. 委員会としてこの種の活動は行っていない
7. 学会認定医制度
 - 7-1. 学会認定医制度が存在する
貴委員会活動と認定医制度との関係 _____
 - 7-2. 学会認定医制度は存在しない
8. 貴学会として医学教育についての調査結果, あるいは提言をされることがありますか.
8-1. ある 8-2. ない
(もし, おありの場合, 公表できるものであればいただけますと資料といたします.)
9. 今後, 当学会教育委員会協議会の会合に代表者をご派遣いただけますか.
9-1. 参加する 9-2. 不参加 9-3. 未定
[なお, 会合費, 事務費などは日本医学教育学会で準備いたしますが, 各学会参加者の
旅費や宿泊費は各学会の負担とさせていただきます.]
10. その他ご意見
[_____]

(以上平成9年9月 日記入)

ご協力ありがとうございました.

このアンケート調査票は同封の封筒にて平成9年9月30日までにご回報下さいますようお願い申し上げます.

3. 各学会の医学教育への対応についての実態 調査ならびに意向調査報告書

日本医学教育学会
学会教育委員会協議会

1997年11月

1) 各学会名

学 会 名	回答者	学会での役職	学会会員数
1. 日本医史学会	酒井 シズ	常任理事	930
2. 日本解剖学会			
3. 日本生理学会			
4. 日本生化学会	香川 靖雄		13,500
5. 日本薬理学会	宮本 英士	理事・教育委員会委員長	6,500
6. 日本病理学会	小池 盛雄	理事（認定病理医部会担当）	4,200
7. 日本癌学会			
8. 日本血液学会	井尻 勤	事務長	5,300
9. 日本細菌学会	中山 宏明	理事・教育委員長	2,600
10. 日本寄生虫学会			
11. 日本法医学会	吉岡 尚文	理事（教育研究委員長）	1,200
12. 日本衛生学会	櫻井 治彦	幹事長	2,700
13. 日本民族衛生学会			
14. 日本栄養・食糧学会	仲谷 明紘	理事（庶務担当）	4,400
15. 日本温泉気候物理医学会	東 威	理事	1,500
16. 日本内分泌学会			
17. 日本内科学会	金澤 一郎	理事長	74,500
18. 日本小児科学会	小宮山 淳	教育委員会 委員長	16,200
19. 日本感染症学会	国井 乙彦	理事長	5,500
20. 日本結核病学会	下方 薫	理事，教育委員会委員長	2,800
21. 日本消化器病学会	林 滋	事務局職員	26,000
22. 日本循環器学会	北畠 顕	理事，教育研修委員会委員長	19,503
23. 日本精神神経学会	牛島 定信	副理事長	8,500
24. 日本外科学会	武藤徹一郎	会長	38,000
25. 日本整形外科学会			
26. 日本産科婦人科学会			
27. 日本眼科学会	土屋 幸雄	学会事務局長	11,731
28. 日本耳鼻咽喉科学会	大山 勝	理事	10,000
29. 日本皮膚科学会			
30. 日本泌尿器科学会	鈴木 唯司	理事（教育委員会委員長）	6,700
31. 日本口腔科学会	作田 正義	理事長	4,000
〔全国医学部付属病院歯科 口腔外科科長会議	吉武 一貞	口科学会：評議員 科長会議：事務局庶務担当役員	〕
32. 日本医学放射線学会	平松 京一	教育委員会委員長	6,500
33. 日本保険医学会			
34. 日本医科器械学会	中尾 雄二	事務局長	1,800
35. 日本ハンセン病学会			
36. 日本公衆衛生学会	近藤 健文	理事	7,000
37. 日本衛生動物学会	田中 生男	庶務・会計常任幹事	700
38. 日本交通医学会	大内 博	理事長	1,050
39. 日本体力医学会	竹宮 隆	理事，総務委員会委員長	5,000
40. 日本産業衛生学会	徳永 力雄	理事（研究会担当，（仮）教育担当）	6,700

41. 日本気管食道科学会				
42. 日本アレルギー学会	宮本 昭正	理事会		7,000
43. 日本化学療法学会				
44. 日本ウィルス学会	山西 弘	理事長		3,000
45. 日本麻酔学会	伊藤 祐輔	生涯教育委員会委員長		8,000
46. 日本胸部外科学会	村瀬 允也	理事（卒後教育委員長）		9,000
47. 日本脳神経外科学会	早川 徹	会長		7,000
48. 日本輸血学会	原 宏	幹事・教育委員会委員長		3,000
49. 日本医真菌学会	野沢 義則	理事長		1,250
50. 日本農村医学会	山根 洋右	幹事・理事		4,000
51. 日本糖尿病学会				
52. 日本矯正医学会	古賀 武紘	総務参事		900
53. 日本神経学会	水野 美邦	理事		7,734
54. 日本老年医学会	鳥羽 研二	教育委員会委員，理事		6,100
55. 日本人類遺伝学会	濱口 秀夫	理事（教育担当）		
56. 日本リハビリテーション 医学会	田中 信行	理事		8,600
57. 日本呼吸器学会 （旧 日本胸部疾患学会）	山口 幸男	事務長		9,100
58. 日本腎臓学会	大澤 源吾	理事		7,000
59. 日本リウマチ学会				
60. 日本エム・イー学会				
61. 日本先天異常学会	塩田 浩平	庶務担当理事		1,100
62. 日本肝臓学会	山下 重	事務局長		9,400
63. 日本形成外科学会	小川 豊	理事，学術教育担当		3,700
64. 日本熱帯医学会				
65. 日本小児外科学会	加藤 哲夫	教育・用語委員会委員長		3,300
	溝手 博義	教育・用語委員会担当理事		
66. 日本脈管学会	重松 宏	幹事		4,000
67. 日本新生児学会	中野 仁雄	会頭		4,800
68. 日本人工臓器学会				
69. 日本免疫学会	渡辺 武	庶務幹事		5,800
70. 日本消化器外科学会	鷹伊 正義	教育委員長		21,500
71. 日本臨床病理学会	熊坂 一成	理事(教育担当)，教育委員会委員長		3,500
72. 日本核医学会	石井 勝己	理事長		3,500
73. 日本不妊学会				
74. 日本救急医学会	島崎 修次	理事		10,000
75. 日本心身医学会	本郷 道夫	教育研修委員長		3,200
76. 日本病院管理学会	江川 寛	教育委員会委員長		1,200
77. 日本消化器内視鏡学会	三輪 剛	消化器内視鏡卒後教育担当理事		25,500
78. 日本癌治療学会	稲本 俊	学会本部幹事		15,000
79. 日本移植学会				
80. 日本災害医学会				
81. 日本心臓血管外科学会	古瀬 彰	理事長		
82. 日本リンパ網内系学会				
83. 日本自律神経学会	宇尾野公義	理事長		1,600
84. 日本大腸肛門病学会	吉雄 敏文	理事長		5,630
85. 日本超音波医学会	松崎 益徳	教育委員会委員長		14,000
86. 日本動脈硬化学会	沼野 藤夫	庶務理事		2,600
87. 日本東洋医学会				
88. 日本小児神経学会	岡 次	教育委員長，理事		3,218
89. 日本呼吸器外科学会				
90. 日本医学教育学会				
91. 日本医療情報学会	山本 和子	理事，情報教育委員会委員長		1,700

（空欄は回答をいただけなかった学会）

2) 集計結果

4. 医学教育に関する委員会

4-1. 医学教育に関する専門あるいは特別の委員会がありますか。

	4-1-1. ある	4-1-2. ない	4-1-3. 近く設けることになっている	
	%	%	%	%
A	11(64.7)	4(23.5)	2(11.8)	17(100.0)
B	30(62.5)	16(33.3)	2(4.2)	48(100.0)
計	41(63.1)	20(30.8)	4(6.1)	65(100.0)

A. 従来医学部の設置基準で不可欠だった講座に対応する学会

B. それ以外の学会

4-2. その名称はなんですか。

教育委員会 (18)	教育用語委員会
教育研修委員会 (2)	専門医認定委員会
教育推進委員会 (2)	認定制度審議委員会
教育担当委員会	専門医制度委員会
医学教育専門委員会 (科長会議)	専門医制度検討委員会
卒前卒後教育検討委員会	認定病理医制度運営委員会
学術教育委員会	矯正医官研修
学術委員会, 医学教育小委員会	
卒後教育委員会 (3)	
教育研究委員会	
卒後教育検討小委員会	() 内は件数
医科生化学教育委員会	() のないのはそれぞれ1件
情報教育委員会	
救急医学領域教育研修委員会	
生涯教育委員会 (3)	

4-3. 委員会がある場合

4-3-1. 卒前, 卒後を同一の委員会であつかつている。

A :	7
B :	12
	19

4-3-2. 卒前, 卒後に異なる委員会 (あるいは小委員会) が別々に存在する。

A :	4
B :	18
	22

4-3-2-1. 現在まで主に卒前医学教育をやってきた。

A :	1
B :	4
	5

4-3-2-2. 現在まで主に卒後研修 (研究) をあつかつてきた。

A :	2
B :	8
	10

4-3-2-3. 現在まで主に学会認定医制度に関することをあつかってきた。

A :	1
B :	6
	7

4-3-3. その他 ()

A :	1 (生涯教育)
B :	0

卒前教育をあつかった	A : 8	B : 16	小計 24 (40.0 %)
卒後教育・認定医制度・生涯教育をあつかった	A : 10	B : 26	小計 36 (60.0 %)
	計 60 (100.0 %)		

5. 卒前医学教育に関する委員会活動について（複数回答可）

	A	B	計
	%	%	%
5-1. これまで主に、カリキュラム、教育方法に関することをあつかってきた	6(37.5)	10(34.5)	16(35.6)
5-2. 評価方法に関することをあつかってきた	1(6.25)	0(0.0)	1(2.2)
5-3. 医師国家試験に関することをあつかってきた	1(6.25)	3(10.3)	4(8.9)
5-4. “Teacher Training” あるいは“医学教育者のためのワークショップ” を	4(25.0)	4(13.8)	8(17.7)
a. これまで行った	3	3	6
b. 近く行う予定	1	1	2
c. 行う予定なし	4(25.0)	12(41.4)	16(35.6)
5-5. その他 ()	16(100.0)	29(100.0)	45(100.0)
実態調査	3	6	
交換教授	2	3	
教育資材・スライドなどの開発	1	2	

6. 卒後臨床研修に関する委員会活動について

6-1-1. 委員会としてこの種の活動を行っている
具体的に

A : 10 B : 25

小児科学会；卒後臨床到達目標設定，初期研修システムの提言，学会誌に生涯教育用の問題掲載
 麻酔学会；指導医の資格更新，初期研修カリキュラム，リフレッシュコースの検討
 救急医学会；スーパーロチナの研修目標作成
 神経学会；卒後臨床研修における到達目標の検討
 病理学会；認定医制度による病院・施設の設置，講習会，試験
 精神神経学会；全国関係機関の調査
 外科学会；セミナー
 泌尿器学会；定期的教育講演，ビデオ
 医学放射線学会；セミナー，ティーティングファイル，学会時の教育展示

心身医学会；専門医のためのカリキュラム，ビデオ
 循環器学会；学会時の教育セッション
 温泉気候物理医学会；ブロック研修会，中央研修会
 小児神経学会；セミナー
 アレルギー学会；講演会
 脳神経外科学会；専門医生涯教育
 リハビリテーション医学；認定医取得のためのカリキュラム
 消化器内視鏡学会；セミナー
 消化器外科学会；セミナー
 結核病学会；教育病院の整備
 矯正医学会；医官研修
 形成外科学会；学術講習会
 呼吸器学会；セミナー
 病院管理学会；立案中
 臨床病理学会；カリキュラム改訂中
 胸部外科学会；セミナー
 循環器学会；学会時の教育セッション
 超音波医学会；講習会
 老年医学会；カリキュラム，テキスト
 小児外科学会；セミナー
 大腸肛門病学会；セミナー
 核医学会；講習会
 肝臓学会；講習会
 口腔科学会；医師・歯科医師の卒後研究アンケート・カリキュラム
 小児学会，麻酔学会，救急医学会などを除き，殆どが「専門医」「認定医」のための活動がこの欄に記入されている。

6-1-2. 委員会としてこの種の活動は行っていない

設問はしたが基礎系学会もあるので集計はおこなわなかった。

7. 学会認定医制度

7-1. 学会認定医制度が存在する

A：	9
B：	29
	38

7-2. 学会認定医制度が存在しない

A：	7
B：	18
	25

7-3. 近く発足 A：1 不明 B：1

学会認定医制度は臨床系学会あるいはスーパースペシャリティ学会を中心に，設けられている。Aの中の臨床系学会で現在検討中のところもある（精神神経学会）。

貴委員会活動と認定医制度との関係

病理学会；委員会は卒後研修と認定医制度を運営

耳鼻咽喉科学会；専門医制度委員会

泌尿器科学会；専門医の研修単位の設置など制度審議会，試験委員会の協力

麻酔科学会；指導医とは別に認定医制度をおくかどうか検討中

医学放射線学会；認定医制度とは別に会員の教育にあたる

心身医学会；別組織

循環器学会；認定医制度とは別に専門医むけ教育セッション

救急医学会；認定医制度とは別組織

小児神経学会；認定医制度とは別組織

脳神経外科学会；連動してやっている

リハビリテーション医学会；認定医制度とは別組織

消化器内視鏡学会；認定医制度とは別組織
 神経学会；別組織で本委員会は研修プログラム作成
 小児外科学会；卒後研修セミナー
 大腸肛門医学会；教育セミナー
 肝臓学会；教育講習会
 （認定医制度の一環としての委員会活動と思われるところは省略）

8. 貴学会として委員会についての調査結果，あるいは提言をされたことがありますか。

	8-1. ある	8-2. ない	8-3. 未記入	
A：	8	9		17
B：	11	34	3	48
	19(29.2%)	43(66.2%)	3(4.6%)	65(100.0%)

生化学会；香川，生化学教育に関するアンケートのまとめ，生化学 67（1）56-62，1995.
 Kagawa, Y.: Evaluation of Jap. Univ. by their Contribution to Life Science, Biochemical Education, 21 (3)135-138, 1993.
 病院管理学会；病院管理学コアカリキュラム，病院管理 187-192，1994.
 ；国家試験出題基準ガイドライン改訂への報告書，医学総論，病院管理 87-94，1995.
 老年医学会；大学における老年医学教育のありかたに関する研究，卒前老年医学教育の国際比較文献的検討，日本老年医学雑誌，33（7）540-546，1996.
 リハビリテーション医学会；
 リハビリテーション医学卒前・教育・診療に関するアンケート調査報告（1996），
 リハビリテーション医学，34（4）247-254，1997.
 臨床病理学会；医学部における臨床病理学の卒前教育カリキュラム基準，臨床病理，38（12）1393-1410，1990.
 ；熊坂・藤巻；基本的臨床研修目標ガイドライン—旧カリキュラムと新カリキュラムの違いはどこか，臨床病理，42（5）495-498，1994.
 結核病学会；これからの結核対策，Kekkaku，67（6）463-469，1992.
 法医学会；卒前教育に関するアンケート調査
 医療情報学会；情報処理教育改善への取り組み
 病理学会；病理学卒前教育の実態調査，1996.
 ；病理学卒前教育の新展開を目指して，1997.
 救急医学会；救急領域における医師卒後研修カリキュラム

9. 今後，当学会教育委員会協議会の会合に代表者をご派遣いただけますか。

	9-1. 参加する	9-2. 不参加	9-3. 未定	
A：	10(58.8%)	0	7(41.2%)	17(100.0%)
B：	23(47.9%)	2(4.2%)	23(47.9%)	48(100.0%)
	33(50.8%)	2(3.1%)	30(46.1%)	65(100.0%)
			前向きとして付記 2	

10. その他ご意見

他学会との横の連絡がとれ，協議会の存在価値がある。
 医学教育のみに対応しているのではない。
 これを機会に医学教育に前向きにとりくむ。
 卒後教育に傾きすぎていたのでこれから卒前教育にもとりくみたい。
 卒後教育を充実させたい。
 必要に応じて保健学科，医療技術学科，看護学科も対象にしてはどうか。

むすび

学会は本来、その専門分野の研究発表あるいはそれを促進するために組織され、発展してきている。しかし、その発達した学問や技術が社会のために正しく機能しているかという課題にも責任をもっている。医学や医療の資源は社会にあり、しかもそれには限りがある。そのように考えていくと、各医学会は、社会や患者のニーズにどのように応えて質のよい医療を効率よく供給するのか、ということにも責任があるはずである。すなわち、医学教育にも関与することが求められるのである。

そのような時代の要請を受けて、わが国の各医学会は、教育に関する委員会をもうけて活動して

いるのが全体の70%に及ぶ。また、学会教育委員会協議会のよびかけに、大半の学会が参加された。

ただ、これまでの各学会の医学教育に関する活動は、卒後専門医教育ないしは各学会認定医教育に比重が大で、卒前教育には小である。各学会の運営が会員の会費によってなされていることを考えれば、やむを得ないことではある。しかし、その会員もかつては卒前教育をうけたのであるし、適切な卒前教育がなされることで医師の社会的立場が向上することに反対はないだろう。ことに、卒前医学教育が専門学科の別をこえた協力のもと統合カリキュラムへの転換を求められているとき、各医学会とも医学教育ことに卒前教育の改善への対応がなされることが要請される。

*

*

*